

	埼玉大学 工学分野
学部等の教育研究 組織の名称	工学部（第1年次:440） 大学院理工学研究科（M:308 D:56）
沿 革	昭和24（1949）年 埼玉大学創立 昭和38（1963）年 工学部設置 昭和40（1965）年 工学部を廃止し、理工学部を設置 昭和48（1973）年 大学院工学研究科設置 昭和51（1976）年 理工学部を改組し、理学部、工学部を設置 平成元（1989）年 大学院理工学研究科設置
設置目的等	<p>昭和38年、産業変革の時代に即応する学術の研究及び技術者の育成を目的に、埼玉大学工学部が設置された。</p> <p>昭和40年、理系と工系を一体化し、物理、数学、化学、生物等の基礎科目を重視・融合し、総合的で広い視野に立った技術者の育成を目的に、工学部を廃止し、理工学部が設置された。</p> <p>昭和48年、教育研究水準の充実向上をはかると共に、研究能力を具備した技術者の育成を目的に、大学院工学研究科が設置された。</p> <p>昭和51年、研究教育分野の専門性の急速な拡大に対応することを目的に、理工学部を改組し、工学部が設置された。</p> <p>平成元年に、専門分野について深い学識と思考力をもち、絶えず自己研鑽を行う姿勢、基礎分野、関連分野への深い理解とこれを応用できる柔軟な能力、新しい社会、産業の動向に迅速に対応できる広範な知識と新しい学問の芽を育て得る豊かな創造性、国際的な視野で新しい科学技術の問題を判断できる見識を備えた研究者、技術者の育成を目的に、大学院理工学研究科が設置された。</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>埼玉大学においては、専門性を軸に幅広い教養を備えた人材の育成に努めるとともに、地球規模での人類的課題や地域社会が抱える現実的課題に応える研究を積極的に推進することを理念として教育、研究、社会貢献に取り組んでおり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <p>○ 工学に関する基礎から応用に広がる講義と演習・実習・実験の相互補完により、技術に求められる創造力の涵養と専門分野及び関連</p>

分野にわたる幅広い教育を学士課程・博士前期課程を通じて一貫的に展開し、国際社会において指導的役割を果たす高度技術者の育成を充実する。また、博士後期課程においては、学問の新しい潮流、社会及び産業の動向に対応できる知識を備え、学問の新領域又は新技術・新産業を創出する能力を備えた研究者及び技術者を育成する役割を果たす。

- 埼玉県をはじめとする地域に密着した教育として、バーチャルトレーニングと実習を融合した技術者の育成、連携大学院による新生モノづくり教育、地域環境保全エキスパート養成や、世界に展開する教育として、海外大学の研究室との交流体験型世界環流プログラム、英語による学位取得が可能な環境科学・社会基盤国際プログラムなどの特色ある教育の実績、及び国際的通用性のある認証プログラムを積極的に推進してきた実績を生かし、グローバルに活躍できる工学系人材を育成する学部・大学院教育を目指して不断の改善・充実を図る。
- 環境社会基盤、ロボティクス、情報セキュリティー分野などの高い研究実績を生かし、工学の諸分野の研究をより一層推進するとともに、理学・医学と連携した学問の新領域創出を図る。
- 教員一人当たりの特許出願数の高い実績を生かし、産学官連携研究を積極的に展開し、今後とも埼玉県をはじめとする我が国の産業を支える実践的な研究等の取組を一層推進する。
- 長期履修学生制度や社会人入試制度による大学院への社会人受け入れ促進や、埼玉県の技術者向け講習会等の実施を通じ、地域・社会の産業界の高度化・活性化に資する。